

みなさん、おはようございます。

明日六月八日は、大阪市立玉出  
中学校の七十歳の誕生日、

創立記念日となります。

また、昨年末に音楽室・理科室、  
そして図書室を中心とする西館が  
完成し、その完成をお祝いする  
日ともなります。

一日早いですが、本日、記念式典を  
行い、そのお祝いをしたいと思います。

本来でしたら、西成区役所、

大阪市教育委員会、関係諸機関等、  
多くの地域の方々や保護者の方々  
にもお越しいただき、大々的に  
お祝いをするべきところですが、

残念ながら、新型コロナウイルス感染  
予防に係る緊急事態宣言が出されて

いますので、学校内、教職員と生徒のみなさんだけの祝賀会と  
なっていました。

しかし、これを、残念と  
とらえるのか、内輪で行う  
実りのある会と捉えるのかは、  
みなさんの気持ち一つだと思います。

平成の時代が終わり令和の時代が  
訪れ、技術革新のスピードが、  
ますます速くなっている現代。  
昔と比べると驚くような変化が  
身の回りで起きています。

第四次産業革命といわれる  
AIを中心としたバーチャル化や  
自動化は、生活様式の変化を  
もたらしました。

これは、「新型コロナウイルス」  
感染予防対応により、

ますます拍車がかかった  
感があります。

このような時代に、学校は  
どうあるべきか、本校の一〇年後、  
二〇年後の姿はどうあるべきか  
考えることとなりました。

そこで、そのヒントは、  
本校の七十年の歴史を振り返る  
ことから得られるのではないかと  
考えるに至りました。

そこで、本校の歴史を記した  
記念誌から、本校が設立された当時の  
様子や、その後の変遷について、  
振り返ってみたいと思います。

本校は、第二次世界大戦から  
ほんの二年と半年ほどの  
昭和二八年四月、当時の多くの  
地域の方々から土地をお譲り

いただき、この地に

大阪市立西成第五中学校として  
産声をあげました。

同年六月に大阪市立玉出中学校と  
改称し、開校にいたります。

これまでに約一万四千余名の  
卒業生が、地域の活性化を支える  
人材として、また各界において有為な  
人材として、活躍しています。

ただ、残念ながら数年前に学校の  
荒廃が進みました。

そこで、「玉出中学校生徒一〇カ条」  
を掲げ「玉出中学校見守り  
ネットワーク」を立ちあげ、  
地域の方々を中心に、学校・保護者・  
関係諸機関が一丸となり、  
学校の正常化に取り組んできました。

おかげで現在は、落ち着いた雰囲気と静かな環境で、日々の学校生活を送れるようになりました。

また、「新型コロナウイルス」の影響をも ものともせず、

今後も「玉出中学校を大阪で一番の学校にする」という強い信念を持って、本校の教育を良い方向に導き、

「安全で安心な」教育環境を守り、校訓の「勤勉・自律・協調」のもと、

「人にやさしい生徒、人にやさしい玉出中学生」を本分とし、

生徒が生き生きとし

「自ら考え行動できる」

玉出中学校をつくるべく邁進していきましよう。

さらに、新たな学力を育成する教育にも同様です。

これからも、創立七十周年を一つの節目として、これまで営々と築きあげてきた「地域とともにある、地域の学校」という本校のよき伝統や校風を尊重・継承して発展させていきたいと思います。

おわりに、この式典にかかわりご尽力いただきました関係各位に心から感謝とお礼を申しあげ、お祝いの言葉といたします。

令和3年6月吉日

大阪市立玉出中学校

校長 村瀬 香織